

八ヶ岳に住む生き物・ぬり絵図鑑

オオゾウムシ



この長い口先が特徴。
アップで見ると、体のパーツがとてもメカニックで良く出来ている。
丸くて大きい目がかわいいよ。



幼虫はちょっと寸詰まりでお尻に6本の突起があり、木の中に穴を掘って、中の木を食べて育ちます。

＊ ＊ オオゾウムシ ＊ ＊

ゾウムシの仲間では最大ですが、体の大きさは1cm～3cmと個体差があります。特徴は象の鼻のように長い口先で名前の由来になりました。体はとても硬く灰褐色のまだら模様で、デコボコしていて足には鋭い爪があり、しがみつく力が強いです。

日本全国の森や林、里山の木が豊かな場所に住んでいて、マツやスギ等の針葉樹やナラやクヌギなどの樹液をなめて暮らしています。

卵は弱った木や倒木などの湿り気のある物を選んで、その長い口で穴をあけて産卵します。

羽化してからの寿命は2年程です。

